

単元名 ありがとうが いっぱい(2)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 家庭における自分の役割, 自分の成長は家族の支えによることなどに気付くことができる。
 (2) 自分が家族のためにできることを考え, 行動するとともに, できたことを工夫して友達に伝えることができる。
 (3) 家庭での生活を振り返ったり, 家の仕事に挑戦したりして, 家庭での生活に関心をもち, 自分の役割を積極的に果たそうとする。

標準的な展開例

01060301_001

【準備等】これまでの記録カード, 便箋 等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 継続して取り組んでいることやできるようになったことを振り返る。 ★にこにこ大作戦を振り返ろう ○取り組んでいることを振り返り, 発表する。 ・家の仕事がたくさんできるようになりました。 ・洗濯物畳みは, 宿題の後にやることになっています。わたしの仕事として続けています。</p> <p>○記録カードを振り返り, 紹介したい取組の一つを選んで発表の練習をする。</p> <p>3 できるようになったことを発表する。 ★にこにこ大作戦の報告会をしよう ○発表する。</p> <p>○感想を伝え合う。 ・〇〇さんが, 洗濯物の畳み方を教えてくれたのがよかったです。ばくも〇〇さんみたいにきれいに畳みたいです。</p> <p>4～5 自分や家族の役割を考え, お世話になっている家族に感謝の手紙を書く。 ○自分や家族の役割について考える。 <自分> ・今の食器並べとお風呂掃除を続けたいです。 ・新しいことにも挑戦したいです。 <家族> ・ぼくたちのために家の仕事をしてくれています。 ・わたしたちが元気でいられるように, ごはんを作ったり熱が出たら看病したりしてくれます。 ・いつも応援してくれます。だからぼくは勉強やお手伝いががんばれます。</p> <p>★お世話になっている家族にお礼をしよう ○お礼の手紙を書く。 ・お母さんへ 家の仕事に挑戦したら, とても大変だということが分かりました。いつもありがとう。これからは, 自分のことも家の仕事もがんばります。</p>	<p>・冬休みに宿題を出していない場合は, 家庭での取組を発表させたり, 学校の取組も観察して具体的な活動場面を取り上げ全体に広げたりする。</p> <p>・これまでの取組を記録カード等から振り返り学習の初めと比べてできるようになったことなどを, 学級全体場で発表することを伝える。</p> <p>・前時までのグループでの紹介を想起させ, 靴揃えや洗濯物畳みなど, 発表の方法を工夫することを伝える。実演が難しいお手伝いに関しても, こつを伝えたり動作化して説明したりするなどの工夫をさせたい。</p> <p>【評】伝え合いや発表の練習を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書P.119「まなびかたずかん」を見て, 聞く人の態度を確認する。</p> <p>・児童のお手伝いの様子を見て, 自分の家での活動の場が広がるとよい。</p> <p>【評】発表を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・食事や睡眠等, 日々の家庭生活の中での配慮してもらっていること, 治療や看病をしたときの安堵, 成長の節目に当たる家族の行事などについて振り返ったり交流したりすることで, 家族がしてくれたことに気付き, 家族の願いを実施できるようにする。</p> <p>・「ありがとう」が届けられる手紙を書くように指導する。</p> <p>【評】手紙を書く活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・手紙の渡し方を確認したり, 今後も自分のことや家族のことで, できることを続けたり挑戦したりする気持ちを高めて学習を終了する</p> <p>【評】単元を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

1月に行く単元であるが, 学校行事やその準備等で行えない場合, 3月にこの単元を扱うことも考えられる。